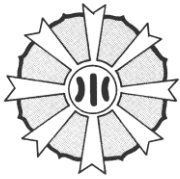


【学校教育目標】 命が喜ぶ生き方を考え、

夢に向かって、自分とふるさとの未来を切り拓く子の育成  
～ ふわふわ言葉やきらめき行動を通して ～



# 八条っ子

学校だより No. 4

令和4年7月20日

豊岡市立八条小学校



## 楽しみな 夏休み！

今日で、1学期が終わりました。コロナ禍の中ではありましたが、保護者の皆様のご協力のおかげで、感染対策を行った上で、学校行事、学習活動を進めることができました。ありがとうございました。

さて、明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。39日間という長い休みになりますが、子どもたちが安全にそして有意義に夏休みを過ごすことができますようよろしくお願いいたします。

毎日子どもたちの登下校を見守ってくださった防犯ボランティアの皆様。子どもたちへの読み聞かせと読書環境の整備にご尽力いただいた「ぶんぶんフレンズ」の皆様。そして、様々な学習活動にご協力いただいたたくさんの方々。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



「ぶんぶん」や「ぶんぶん」、「思いやり」思いやり

七月の全校朝会は、三年ぶりに体育館に全校児童が集まり、対面で行いました。こうして集まることは、一、二、三年生にとって初めてのことでした。静かに、スムーズに集まることのできるか心配していましたが、六年生の素晴らしいお手本があったので、一言のおしゃべりもなく集まり、話し手につきり目を向けて話も聴き、静かに退場もできました。素晴らしい六年生、そしてその姿を引き継ぐ下級生。八条っ子の素晴らしさを感じました。

この中で次の詩を紹介しました。この詩は、宮澤章二さん（詩人・作詞家）が書かれた「行為の意味」という詩です。

人はだれでも優しい心をもっています。人を心配したり慈しんだりする思いがあります。しかし、いくら良い心があっても、いくら良い思いがあっても、いくら良い思いがあっても、それは決して誰にも見えません。でもお年寄りに席を譲るとか、困っていたり悲しんでいたたりする人がいたら、「大丈夫ですか。何か私にできませんか」と言って声を掛けるなど、行動に表すことで相手に伝わるのです。

子どもたちも、良い心、良い思いを「心遣い」や「思いやり」の行動、きらめき行動につなげてほしいです。

### 行為の意味

あなたの「こころ」はどんな形ですか  
とひとに聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも「こころ」は見えない  
けれど、ほんとうに見えないのであろうか

確かに「こころ」はだれにも見えない  
けれど「こころづかい」は見えるのだ  
それは、人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない  
けれど「思いやり」はだれにも見えない  
それも、人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が、あたたかい行為になり  
やさしい思いが、やさしい行為になるとき  
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる  
それは、人が人として生きることだ



# 自然いっぱい、思い出いっぱい 自然学校！



5年生は、6月27日(月)～7月1日(金)の期間2泊5日で、新田小学校5年生との連合で、自然学校を行いました。初日は神鍋高原(日帰り)、2日目からは香美町の県立兔和野高原野外教育センター(2泊3日)、最終日は円山川公苑(日帰り)の日程で、連日の猛暑の中、元気よく有意義に活動しました。

この自然学校を通して、仲間とともにたくさんのことを体験することで、多くのことを学び、成長しました。それを「非認知能力」の視点で、実施前後にアンケートをとってみると、下の表のような結果が得られました。

やり抜く力(何かをやり切ってうれしくなったことがある、自分がかんげりやさんだと思ふ、など)と自制心(約束や秘密を守る、あきらめずに挑戦することができる、など)の問いには、明らかに効果が表れています。協働性(困っている友達がいたら声を掛けたり助けたりする、友達の気持ちを考えることができる、など)についてはほぼ変わらない結果となりました。

魚つかみや飯盒炊飯をとおして初めての体験に感動したり、自然と向き合うことでたくさんの発見をしたりした子どももたくさんいました。スタンプや物づくりなどを通して、新たな自分の可能性を発見した子どももいました。山歩きやカッター体験をとおして、やり抜くことの大切さや素晴らしさに気づいた子どももいました。そして仲間と協力することの尊さを実感した子どももいました。

5年生の子どもたちにとって、貴重な学びの機会となりました。保護者の皆様には、準備等ご協力ありがとうございました。

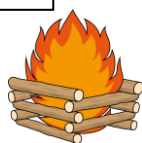
## ※非認知能力とは

学力テスト等の数値では表しにくい内面の力(やり抜く力、自制心、他者と関わる力)のことで、教育活動等を通して繰り返し取り組むことで育ってきます。文部科学省委託研究での分析結果によると、「非認知能力を高めることが学力を一定程度押し上げる可能性がある」ことが明らかにされています。

非認知能力について肯定的な回答

	実施前	実施後	比較
やり抜く力	81.5 %	85.9 %	+4.4 %
自制心	91.5 %	95.8 %	+4.3 %
協働性	97.5 %	96.9 %	-0.6 %

【神鍋高原】  
※魚つかみ、  
勾玉づくり、  
他



## 【兔和野高原】

※カレー作り、自然散策、キャンプファイヤー他



## 【円山川公苑】※カッター、カヌー、カヤック体験

